

REDHAT FORUM 北京 2016 現地レポート

2016 年 10 月 25 日 ウェスティン北京朝陽

クララオンライン中国

2016 年 10 月 25 日、RedHat が主催するイベント REDHAT FORUM が北京で開催された。会場に入った瞬間に今年のテーマである「参与的力量—THE POWER OF PARTICIPATION」の文字が目に入り、オープンソース領域をリードする同社らしいテーマだと思うと同時に大きなインパクトを受けた。受付は入場手続きを待つ参加者でごった返しており、OSS(オープンソースソフトウェア)への関心の高さがうかがえた。

1. 「オープンソースは文化」と挨拶

最初の主催者挨拶では RedHat 大中華区の張先民総裁が、「オープンソースはテクノロジーのブレークスルーをけん引する最先端かつ最大の駆動力」だとして、その存在価値と未来を語った。さらに張総裁は、2015 年までに北京と上海が世界で最も開発者の多い都市になったと話し、2016 年 10 月にオープンソースのクラウド構築基盤ソフトウェア「OpenStack」の 14 番目のバージョン「Newton」がリリースされて以降、中国国内では 25 社がコントリビューションしていると注目の高さをアピールした。



挨拶に立つ張先民総裁(左)とグローバルマーケティングディレクターの Margaret Dawson 総監(右)

続くゼネラルセッションでは、同社でグローバルマーケティングディレクターを務める Margaret Dawson 総監が、「オープンソースはただのコードではなく、文化である」と述べ、「人々が自由に自分の考えを話し交流することで、新たなアイデアが生まれ

る。既にあるものと組み合わせることで、次の新たな革新が生まれる」とオープンソースが持つ力を訴えた。今や企業の 78%がオープンソース技術を利用しており、医療、教育、政府、管理など多くの分野で巨大な成果を得ているという。



「2016年 RedHat アジア太平洋地区イノベーション大賞」の表彰式の様子

またあわせて「2016年 RedHat アジア太平洋地区イノベーション大賞」の表彰式が行われた。今年は Lenovo、興業銀行、中興(ZTE)、首都在线、Inventec、中国人寿保険、OOCL などの企業が受賞した。

2. RedHat の実力

表彰式が終わると、続いて本格的な技術セッションの幕が開いた。特に午後からは2つの会場に分かれ、テーマ別に複数のセッションが開かれた。

● DevOps

中国でも開発と運営が一体化した“DevOps ムーブメント”が盛んになっている。DevOps の特徴は「スピード」、「効率」、「敏捷性」の3つに集約され、IT 開発から企業に至るまで、すでにかげがえのない存在になっている。



Stephanos Bacon 高級総監のセッションの様子

Red Hat 応用プラットフォーム投資組合戦略チームの Stephanos Bacon 高級総監は

セッションの中で、「DevOps は継続的革新の新しい基盤」だと位置付け、オープンソース技術を元に DevOps の実現を希望する企業が 80%に上ることを明らかにした。

● IBM の Linux 専用物理サーバ S822LC 発表

IBM は今回のフォーラムで Linux 専用物理サーバ S822LC を発表した。同社は今まで 15 年に渡ってオープンソースソフトウェア(OSS)のコミュニティに貢献を続けており、RedHat にとっても長年の事業パートナーだ。

S822LC のストレージ容量は最大 96TB まで拡大可能で、CPU クロックにはターボモードもあり、クロック回数を 15%以上向上することができる。S822LC は KVM、BareMetal を搭載することで OpenStack を全面的にサポートしている上、業界で唯一 GPU to GPU Nvlink の接続が可能で、なおかつ CPU→GPU にも対応可能な物理サーバとなっている。さらに同社は 2017 年下期に OpenCAPI (オープン一致性加速処理インタフェース) のリリース予定も明らかにした。OpenCAPI によってサーバのパフォーマンスは確実にアップするという。



IBM の Linux 専用物理サーバ S822LC を披露

● SanDisk と RedHat CephStorage& OpenStack

RedHat の事業パートナーである SanDisk は、今回同社の RedHat Ceph と OpenStack を取り込んだ新商品 InfiniFlash IF150 を発表した。InfiniFlash IF150 は Ceph 性能でフラッシュのパフォーマンスを最大化しており、異なる負荷に対し 3~12 倍の性能アップが見込めるといふ。3U スペック 512TB で、PB レベルまでの拡大も問題ない。その上、同社の担当者は、この製品は今までの OpenStack・Ceph が搭載されたフラッシュの中で最もパフォーマンスの良いフラッシュだと自信を見せていた。



SanDisk の技術者が InfiniFlash IF150 を披露している様子

● その他

フォーラムの後半は RedHat の事業パートナーである Microsoft、Intel、Lenovo のエンジニアらが、様々な事例を取り上げながらクラウドにおける OpenShift や Linux コンテナなどの技術とソリューションを披露した。



Microsoft、Intel、Lenovo と RedHat のエンジニアらが事例を説明する様子

3. 初心者にも感じられる RedHat の魅力

今回のセッションはどれも「あ、なるほど！」という楽しさが心の底から湧いてくるものだった。RedHat にとってもセッションのスピーカーにとっても、出席者が満足気につぶやいた「あ、なるほど！」の一言より幸せなものはないはずだ。今回のフォーラムが大変有意義だったことは、初心者である筆者が自然に、しかも心の底から来年の RedHat フォーラムに期待していることから伝わるのではないだろうか。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2017 年 1 月 4 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776